



あいサポート運動

「あいサポート」とは、「愛情」の「愛」、私の「I」に共通する「あい」と、支える、応援する意味の「サポート」を組み合わせ、障害のある人を優しく支え、自分の意志で行動することを意味しています。

あいサポート運動は、平成21年11月に鳥取県で創設され、岡山県もこの運動の趣旨に賛同し、平成28年1月に鳥取県と連携協定を締結しました。

様々な障害の特性や障害のある人が困っていること、そしてそれぞれに必要な配慮を理解し、日常生活でそれを実践していく「あいサポート運動」を推進し、誰もが暮らしやすい地域社会（共生社会）の実現にご理解とご協力をお願いします。

あいサポーターになるためには



意欲のある方は、研修会に参加し、あいサポートバッジを受けとることで、誰でもあいサポーターになることができます。

サポーター宣言

わたしたちは、多様な障害の特性を理解し、
お互いが分かり合えるように努めます。

わたしたちは、日常生活で障害のある方が困っている場面を見かけたら、声をかけ、手助けを行います。

わたしたちは、「あいサポート」バッジを身につけ、
気軽に声をかけやすい環境をつくれます。

わたしたちは、「あいサポート」の仲間の輪を広げ、
共に生きるよろこびを伝えます。

県では、あいサポート運動に協力いただける企業・団体を「あいサポート企業・団体」として認定証を交付し、県のホームページで紹介しています。

取り組んでいただく内容は、社員等の皆さんに、このガイドブック等を読み、障害の特性について理解していただいたり、あいサポートバッジを着用していただくことなどです。詳しくは、県障害福祉課のホームページをご覧ください。

お問い合わせ先

岡山県 子ども・福祉部 障害福祉課

電話 086-226-7343 FAX 086-224-6520

電子メール isupport@pref.okayama.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.okayama.jp/page/474242.html>



障害のある人に関するマーク



あいサポート運動のシンボルマーク

バッジのデザインは、障害のある方を支える「心」を2つのハートを重ねることで表現しています。



ヘルプマーク

義足や人工関節を使用している方、内部障害や難病の方、また、妊娠初期の方など、援助や配慮を必要としていることが外見では分からない方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、東京都が作成したマークです。



ヘルプカード

ヘルプマークを活用し、いざというときに、手助けしてもらいたいことや自分の情報を記載したカードです。このカードは岡山県障害福祉課のホームページからダウンロードすることができます。



障害のある人のための国際シンボルマーク

障害のある人が利用できる建物、施設であることを明確に表すための世界共通のシンボルマークです。

駐車場などでこのマークを見かけた場合には、障害のある人の利用への配慮について、御理解、御協力をお願いします。

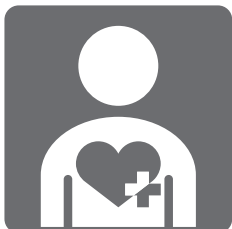
※このマークは「すべての障害のある人を対象」としたもので、特に車いすを利用する人を限定し、使用されるものではありません。



耳マーク

耳マーク

耳の不自由な人であることをあらわすマーク。耳が聞こえない、聞こえにくいということは外見からはわかりにくいので、それらの不安をもった人たちのコミュニケーションをサポートするためにつくられました。このマークをみかけたら、ゆっくりと話したり、手話や筆談するなどの配慮について、御理解、御協力をお願いします。



ハート・プラスマーク

「身体内部に障害がある人」を表しています。身体内部(心臓、呼吸機能、じん臓、膀胱・直腸、小腸、肝臓、免疫機能)に障害がある方は外見からは分かりにくいので、様々な誤解を受けることがあります。

このマークを着用されている方を見かけた場合には、内部障害への配慮について御理解、御協力をお願いします。



オストメイトマーク

人工肛門・人工膀胱を造設している人(オストメイト)のための設備があることを表しています。オストメイト対応のトイレの入口・案内誘導プレートに表示されています。このマークを見かけた場合には、そのトイレがオストメイトに配慮されたトイレであることについて、御理解、御協力をお願いします。